

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	堺市	代表者名	永藤 英機
担当者部署	ICTイノベーション推進室	連絡先電話番号	072-228-7264
担当者役職	一般	担当者氏名	神内 ともみ
住所	590-0078 大阪府堺市南瓦町3-1		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	これまでの経験を踏まえ具体的な内容と共に、こちらの意図をくんだアドバイスをいただいた。また、研修の実施に向けた取組みだけでなく、業務を改善するために、DX技術活用上のポイントや注意点等についても意見をいただくことができた。
アドバイザーへの要望事項	自治体、民間の事例紹介では、一般的な事例紹介ではなく、プロセス見直しのポイント、何を自動化したのか、その効果等をご紹介いただけるとありがたいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年8月3日	17時30分	18時31分		61
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	-
	所在地	-		最寄駅からの交通手段	-
	派遣形態	事前打合せ (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 職員	人数 5 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 業務改善や課題解決にICTを有効活用していくため、職員のICTリテラシー (活用能力) をさらに向上させることが必要な状況にある。 職員の意識改革や発想の転換が必要だと考えているが、具体的な行動例の提示や実践をはじめ、ICTリテラシー向上研修メニュー (取組み内容) 等で悩んでいる。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今回の研修を受講することで、職員が実際に業務改善や課題解決を行う際に、業務の見える化・見直しを行った結果について、実際にDXに結びつけるためのヒントを得てもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修について、「まず、なぜDXを推進するのかという動機付けを行う必要がある」等、どのような構成で進めるのが良いのか、本市の課題等を踏まえながらアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	次回の方針の決定と研修の大まかな構成の決定。 ・なぜDXなのか ・業務の見える化 ・ExcelとRPAを活用した業務改善 ・事例紹介 ・質疑応答	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	もう一度事前打合せを行った後、3回目に研修を実施する予定のため、特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのため、実施なし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	研修を体系化し、継続的に職員の育成を実施していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

